

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470901438	事業の開始年月日	平成17年12月10日	
		指定年月日	平成17年12月1日	
法人名	医療法人寛栄会			
事業所名	高齢者グループホームカメラア式番館			
所在地	(223-0057) 横浜市港北区新羽町4092-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成22年1月30日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

カメラア式番館は、竹林や畑など自然環境に恵まれた中に立地しています。春には近隣で、梅や桜が咲き、季節を肌で感じることができます。お天気の良い日にはお散歩で気分転換や体力低下の予防を行っています。毎日の食事準備や清掃等、生活に関わることはすべてホーム職員とご入居者で行っています。個人差のある身体能力の中で、一人一人の出来ること、希望を実現出来る場を生活の中で提供し、生きがいややりがいを一つでも多く感じていただくことに力を注いでいます。また、ホームの運営については同法人のカメラア診療所の医師、看護師、管理栄養士、リハビリ担当者等と相談の出来るサポート体制があります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成22年2月19日	評価機関 評価決定日	平成22年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴
 (1)ここは医療法人寛栄会の経営で老健カメラアを中心としてカメラア診療所、グループホームカメラア壱番館、貳番館で構成されている。カメラアとは英語で椿の花のことであり、その花言葉は「長寿」である。要介護者をかかえるご家族の気がかりは、心身の機能が衰え、介護や医療の比率が高まった時の不安である。カメラア貳番館は医療連携体制をとり、同法人の老健カメラア、カメラア診療所が近隣にあるという点で安心感がある。法人内での連携については①職員の教育についても法人全体で計画されている。②週1回の音楽療法の実施。③老健内のカメラアシアターでの定期的上映会の実施。④カメラアで行う敬老祭(椿祭)や作品展の開催など法人の特徴を有効に活用している。 貳番館は自然に恵まれた環境の中にあり、ご入居者も参加する畑作業やウッドデッキで行う食事も楽しませている。理念は「自由な生活」「家庭的な生活の場」「ご家族様、地域との交流」の3つの柱から構成されている。食事については老健の管理栄養士の指導を受けながら家庭料理を中心とした独自のメニューをご入居者と一緒に調理を行っている。
 (2)地域との連携については町内会に加入しており、ゴミの清掃当番、回覧板の回付、町のお祭りや行事への参加を行っている。理美容院やレストランは地域の商業施設を活用する他、病院もカメラア診療所(内科、心療内科)以外の診療科目については地元の医院を活用している。地域交流では中学生が体験学習でグループホームに3~4人訪れ、買い物や洗車、窓拭きなどを一緒に行い自然な形で認知症を理解していただくようにしている。小学生は運動会などを通して交流している。法人全体の行事はボランティア委員会があり敬老祭(椿祭)等を企画し、ご家族や近所の方をお招きしている。
 (3)ケアについては法人共通の施設サービス計画書を活用し、毎月のモニタリング記録を担当者会議で確認し、3ヶ月毎に振り返りを実施し、現在についての話し合いにより、将来の方針を決めるようにしている。生活歴を尊重したセンター方式のアセスメントの考え方は活用して行く考えである。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	高齢者グループホームカメラ式番館
ユニット名	A棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
I 理念に基づく運営							
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、職員・外来者の目につくよう玄関に掲示されています。理念に基づき、ホームが地域の一員である事を認識し、近隣との関係づくりに努めています。ご入居者一人一人の個性を大切にサービスを行っています。	理念は、職員・外来者の目につくよう玄関に掲示している。理念に基づき、ホームが地域の一員である事を認識し、近隣との関係づくりに努めている。ご入居者一人一人の個性を大切に、個性に合わせた、1人1人意向を尊重したサービスを行っている。	今後の継続		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	大竹町内会に加入しています。町内会の運動会やお祭りなど、地域の催しには積極的に参加しています。散歩やゴミ出しの時など、積極的に挨拶を行い、親しまれる努力を行っています。	大竹町内会に加入し、回覧板の回覧、掃除当番を町内会の一員として行っている。運動会やお祭りなど、地域の催しにも積極的に参加している。散歩やゴミ出しの時など、積極的に挨拶を行い、親しまれる努力を行っている。化粧品メーカーのメイク教室や中学生の福祉ボランティア、小学生によるリコーダーの演奏などに来て頂いている。	今後の継続		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	高齢者や認知症に関する相談がしやすいよう日頃より地域住民の方とのコミュニケーションに努めています。地域の中学生の福祉体験の受け入れを行っています。	/		/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の中でのホームについての意見を聞き取ることができる場であるとともに、ご入居されている高齢者の状態を理解していただけるようお話ししています。	運営推進会議は壱番館と共催で実施している。地域の中でのホームについての意見を聞き取ることができる場であるとともに、ご入居されている高齢者の状態を理解して頂けるよう話すようにしている。カメラア便りなどを配布し状況をお知らせするようにしている。	今後の継続		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活安全課よりFAXや通知で情報を提供していただき求められるアンケートには回答しています。情報いただいた研修には積極的に参加しています。	生活安全課よりFAXや通知で情報を提供していただき、求められるアンケートには回答している。港北区等から情報を頂いた研修には積極的に参加している。	今後の継続		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年間を通して当該研修を行っています。日中は玄関の施錠はしておらず、外出願望のある入居者様には可能な限りお付き合いしています。否定をしないケアに努め、心理的拘束感を持たれないよう努力しています。	年間を通して身体拘束をしないケアに関する研修を行っている。日中は玄関の施錠はしておらず、外出願望のあるご入居者には可能な限り職員と共に外出していただいている。否定をしないケアに努め、心理的拘束感（捉われ感）を持たれないよう努力している。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	法人勉強会に参加し、権利擁護・虐待・個人情報保護・身体拘束等の知識を高めています。疲れの見えるご家族様とは積極的に話しし、病気の理解とサービスを利用する事での利点を説明しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人勉強会に参加し、権利擁護・虐待・個人情報保護・身体拘束等の知識を高めています。ホームには安心センターを活用されている方や、後見制度を活用されているご入居様があります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	申込時には重要事項説明や契約書の内容をもとにひとつひとつ解りやすい表現に言い換えながら説明させていただき理解を求めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情の申し立ての場所をホーム管理者の他、横浜市の苦情受付連絡先を契約書に記載しています。面会時には積極的に声かけを行い話しやすい雰囲気作りに努めています。	苦情の申し立ての場所をホーム管理者の他、横浜市の苦情受付連絡先を契約書に記載している。面会時には積極的に声かけを行い、話しやすい雰囲気作りに努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にフロア会議をおこない業務改善についての話し合いや、ご入居者様に対する関わり方などの話し合いを行っています。	定期的にフロア会議を行い、業務改善についての話し合いや、入居者に対する関わり方などの話し合いを行っている。法人には各種委員会（感染症、食中毒、防災等）があり、メンバーの職員を通じ、運営に職員の意見を反映出来る仕組みがある。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月に2回の、法人内各部署代表者による会議で、それぞれの部署の状況や相談を表出できる機会があります。また、法人本部に、常時相談できる体制が整っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での新人研修・隔月での勉強会で自己研鑽に努めています。また、各自キャリアを自覚し、後輩へ指導する事を促しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	運営推進会議の委員として地域の同業者と交流する機会を設けています。同法人の耆番館とも情報交換することで、良いところは取り入れるようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前にはご本人と会う機会を持ち、毎日の過ごし方等を伺っています。また、ホームでの生活をお伝えする事により、より安心してご入居していただけるようにしています。ご入居後は個別の関わりを大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	問い合わせには迅速に対応し、お話を傾聴させていただいています。職員の自宅訪問・ご本人、ご家族のホーム見学を通してお互いの趣旨や生活環境の把握に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その方が、生活していく上でどのような支援が必要なのか、又、ご家族が何を求めているのかを考慮し、当ホームでの生活が最適か、他にどのようなサービスが適しているかを考えています。必要に応じて他機関との連携を図ります。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	散歩中や台所仕事などでも会話を大切にしています。家事の得意な方には教を請うようにしています。教えていただいた時には感謝の意を表しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様のご苦勞を配慮しながらご入居者様と一緒に支えていけるよう日常生活の相談をさせていただきます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家具やお茶碗など、お持ち込みいただいて生活空間の中に馴染みのものを取り入れています。ご家族やご友人との面会および外出も推進しています。	家具やお茶碗など、お持ち込みいただいて生活空間の中に馴染みのものを取り入れている。友人等が来所されると昔のことが分かるので、ご家族や友人との面会および外出も推奨している。しかし、認知症が進むにつれて関係の維持が難しくなるため、ご近所と交流を図り、ここが楽しい第2の我が家となるよう支援している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お散歩や家事・レクリエーションなど、ご入居者様同士が関わりあえる時間をつくっています。うまくコミュニケーションが取れない場合は職員が間に入り、良い関係づくりに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退去後の郵便物に一筆添えるなどこれまでの関係に対して敬意を怠らないようにし、間口を広く開けた関係づくりに努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員はご入居者の要望を共有し、実現にむけて取り組んでいます。食べたい物や行きたいところなど、日々の会話からくみとる努力をしています。	職員はご入居者の要望を共有し、実現にむけて取り組んでいる。食べたい物や行きたいところなど、日々の会話からくみとる努力をしている。書類のフォーマットは老健で使用しているものをアレンジして使用しているが、特にアセスメントに関してはセンター方式の考え方とフォーマットの活用を図って行きたい。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前の情報として生活歴を書いていただき人生の歩みを大切にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の生活記録と申し送りでご入居者様の1日の様子を把握するようにしています。病状変化等による心身の変化を早期に把握するよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご入居者および、ご家族様からの要望や、職員から聞き取った内容をもとに一人一人の適性に合ったプランの作成実行をしています。支援経過確認を行い常にご入居者様にとって適正なプランなのかを検討しています。	法人共有のフォーマットを活用し、毎月のモニタリング記録を担当者会議で確認し、3ヶ月毎に振り返りを実施し、現在についての話し合いにより、将来の方針を決めるようにしている。ご入居者および、ご家族からの要望や、職員から聞き取った内容をもとに一人一人のご状態に合った介護計画を作成・実施している。支援経過確認を行い常にご入居者にとって適正な介護計画なのかを検討している。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の様子や夜間の様子を記録に残し、特記事項については申し送り時にも伝達しています。サービスの経過を話し合いその方にあった取り組み方法を検討しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同じ法人の老健リハビリ担当者から、骨折したご入居者様の状態把握・リハビリのアドバイスを受け、生活リハビリの参考にすることができました。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣のスーパーマーケットで衣類や食料などの買い物を、ご本人とともにしています。又、自然環境の豊かな中での散歩を楽しんでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の確認を行っている。月に1回、職員付き添いでカメラ診療所受診で健康管理を行っています。職員は日々の様子を医師に伝えています。必要に応じて病院への紹介状を書いています。	入居時にかかりつけ医の確認を行っている。月に1回、職員付き添いでカメラ診療所受診で健康管理を行っている。職員は日々の様子を医師に伝えている。必要に応じて病院への紹介状を書いていただいている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携加算を算定しており、担当看護師より定期的にご入居者様の健康管理がされています。老健看護師にいつでも相談できる体制があります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ホームでの様子をご家族様を通じてお伝えしています。又、退院が近くなった時にはご家族様の許可を取り病院関係者より入院中の様子や退院後の注意の聞き取りをおこなっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在、緩和ケアの訪問医療を受けているご入居者様がいます。ご家族様や訪問医師・看護師と情報を密にとり、終末期に向けてのケアに取り組んでいます。	現在、緩和ケアの訪問医療を受けているご入居者がいる。ご家族や訪問医師・看護師と情報を密にとり、終末期に向けてのケアに取り組んでいる。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人勉強協会に参加し、急変時の対応についての知識を高めています。勉強会では、AED使用法や緊急蘇生方法の実践を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	港北消防署新羽出張所協力の下、年2回の防災訓練を行っています。訓練では、ご入居者様参加で実際に避難を行っています。又、職員は水消火器による消火訓練も行っていきます。	港北消防署新羽出張所協力の下、年2回の防災訓練を行っている。訓練では、ご入居者参加で実際に避難を行っている。又、職員は水消火器による消火訓練も行っていきます。備蓄については隣が同じ法人の老健であり、老健で一括備蓄を行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者個人のプライバシーに関わる声かけは必要以上に大きな声を出さないように配慮しています。記録の扱いは十分注意しています。	ご入居者個人のプライバシーに関わる声かけは、必要以上に大きな声を出さないように配慮している。記録の扱いは十分注意している。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何かをしていただく時には、お伺いをする声かけを行いご本人の決定を促しています。自己表出が難しい方にも選択肢を提示する工夫をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者の生活パターンを知り、何かをしていただきたい時には気持ちよく行動していただける時間帯や声かけを心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	常日頃のご様子から、その方の好む色や組み合わせを把握し、気持ちよく過ごせる着回しを提案しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けはご入居者と職員で、一緒に行っています。献立に関わらず、好みや食べやすさ、禁止食を考慮した食事が提供出来るよう配慮しています。	メニュー、買い物とも自分たちで行っている。食事の準備や後片付けには、ご入居者と職員が一緒に行っている。献立に関わらず、好みや食べやすさ、禁止食を考慮した食事が提供出来るよう配慮している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分を取りにくい方には、好みの飲み物を提供したり、少量を数回に分けておすすめしています。食事量の少ない方には声かけや介助を行い、食間におやつを召し上がっていただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを促し、必要な方には介助を行っています。歯槽膿漏や虫歯を早期発見し歯科受診を行えるよう努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表への記入や申し送りで排泄パターンを知り、トイレでの排泄を促しています。日中と夜間の尿とりパットの使い分けをしています。	排泄チェック表への記入や申し送りで排泄パターンを知り、トイレでの排泄を促している。日中と夜間の尿とりパットの使い分けをしている。自立してトイレに行ける方は、トイレに行っていただくようにしている。また、職員の方でも自立した方のトイレの回数等を把握するように努めている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトの提供や、起床時の水分摂取など、その方にあった方法を提供しています。運動の足りない方には散歩をおすすめしています。それでも改善のない方には医師に相談し、便秘薬を処方していただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	浴室や脱衣所の温度に気を配っています。ご入居者様が入浴を希望される時は時間に関わらず可能な限りで応じています。	浴室や脱衣所の温度に気を配っている。ご入居者様が入浴を希望される時は時間に関わらず可能な限りで応じている。ご利用者は週に2～3回入浴され、職員と1対1の介助でご利用いただける体制としている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の空調には気を配り、就寝しやすい室温を心がけています。又、リビングで皆様と過ごす時、自室でお一人で過ごす時をご自由に選択できる環境づくりを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院により、薬が処方された時は薬の内容を申し送り職員へ薬の効用を認識するようにしています。服薬チェック表への記入をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お誕生日会やクリスマス会など歳時行事を絡めた催しを行っています。縫物が好きな方には針仕事を、文字のきれいな方には歌詞カード作りを行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日にはお散歩に行き、身体機能の低下予防ともに季節を感じていただいています。ご入居者のご希望する外出場所が実現困難な場所をご家族の協力をいただいています。	お天気の良い日には必ずお散歩に行き、身体機能の低下予防ともに季節を感じていただいている。入居者のご希望する外出場所が実現困難な場所をご家族の協力をいただいている。今は全員の遠出は無理な事が分かったのでグループを分けて実施して行く予定である。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は基本的にはお預かりさせていただいています。自己管理を希望される方にはご家族と相談の上、いくら所持されており、買い物の際にはご自分でレジの支払いを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様とご本人様の要望で、携帯電話を所持している方がいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝、ご入居者といっしょに掃除を行っており、清潔の維持に努めています。カーテンを活用し、時間や気候に則した外光管理を行っています。	毎朝、ご入居者といっしょに掃除を行っており、清潔の維持に努めている。カーテンを活用し、時間や気候に則した外光管理を行っている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングテーブル椅子の他ソファアがあり、ご入居者が思い思いにお過ごしいただいています。共有部分でも一人になれる場所がありご自由に過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お茶碗や家具、ご家族の写真などお持ちいただき、今までの生活とのつながりを身近に感じていただける配慮をしています。	お茶碗や家具、ご家族の写真などお持ちいただき、今までの生活とのつながりを身近に感じていただける配慮をしている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレには手すりが付いており、ご入居者が一人で安全な行動ができるようにしてあります。ADLによっては職員が歩行の介助を行っています。		

事業所名	高齢者グループホームカメラ式番館
ユニット名	B棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、職員・外来者の目につくよう玄関に掲示されています。理念に基づき、ホームが地域の一員である事を認識し、近隣との関係づくりに努めています。ご入居者一人一人の個性を大切にサービスを行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	大竹町内会に加入しています。町内会の運動会やお祭りなど、地域の催しには積極的に参加しています。散歩やゴミ出しの時など、積極的に挨拶を行い、親しまれる努力を行っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	高齢者や認知症に関する相談がしやすいよう日頃より地域住民の方とのコミュニケーションに努めています。地域の中学生の福祉体験の受け入れを行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の中でのホームについての意見を聞き取ることができる場であるとともに、ご入居されている高齢者の状態を理解していただけるようお話ししています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活安全課よりFAXや通知で情報を提供していただき求められるアンケートには回答しています。情報いただいた研修には積極的に参加しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年間を通して当該研修を行っています。日中は玄関の施錠はしておらず、外出願望のあるご入居者には可能な限りお付き合いしています。否定をしないケアに努め、心理的拘束感を持たれないよう努力しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人勉強会に参加し、権利擁護・虐待・個人情報保護・身体拘束等の知識を高めています。疲れの見えるご家族様とは積極的にお話しし、病気の理解とサービスを利用する事での利点を説明しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人勉強会に参加し、権利擁護・虐待・個人情報保護・身体拘束等の知識を高めています。ホームには安心センターを活用されている方や、後見制度を活用されているご入居様がいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	申込時には重要事項説明や契約書の内容をもとにひとつひとつ解りやすい表現に言い換えながら説明させていただき理解を求めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情の申し立ての場所をホーム管理者の他、横浜市の苦情受付連絡先を契約書に記載しています。面会時には積極的に声かけを行い話しやすい雰囲気作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にフロア会議をおこない業務改善についての話し合いや、ご入居者に対する関わり方などの話し合いを行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月に2回の、法人内各部署代表者による会議で、それぞれの部署の状況や相談を表出できる機会があります。また、法人本部に、常時相談できる体制が整っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での新人研修・隔月での勉強会で自己研鑽に努めています。また、各自キャリアを自覚し、後輩へ指導する事を促しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	運営推進会議の委員として地域の同業者と交流する機会を設けています。同法人の耆番館とも情報交換することで、良いところは取り入れるようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前にはご本人と会う機会を持ち、毎日の過ごし方等を伺っています。また、ホームでの生活をお伝えする事により、より安心してご入居していただけるようにしています。ご入居後は個別の関わりを大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	問い合わせには迅速に対応し、お話を傾聴させていただいています。職員の自宅訪問・ご本人、ご家族のホーム見学を通してお互いの趣旨や生活環境の把握に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その方が、生活していく上でどのような支援が必要なのか、又、ご家族が何を求めているのかを考慮し、当ホームででの生活が最適か、他にどのようなサービスが適しているかを考えています。必要に応じて他機関との連携を図ります。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	散歩中や台所仕事などでも会話を大切にしています。家事の得意な方には教をを請うようにしています。教えていただいた時には感謝の意を表しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様のご苦勞を配慮しながらご入居者を一緒に支えていけるよう日常生活の相談をさせていただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家具やお茶碗など、お持ち込みいただいて生活空間の中に馴染みのものを取り入れています。ご家族やご友人との面会および外出も推進しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お散歩や家事・レクリエーションなど、ご入居者同士が関わりあえる時間をつくっています。うまくコミュニケーションが取れない場合は職員が間に入り、良い関係づくりに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退去後の郵便物に一筆添えるなど今までの関係に対して敬意を怠らないようにし、間口を広く開けた関係づくりに努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員はご入居者の要望を共有し、実現に向けて取り組んでいます。食べたい物や行きたいところなど、日々の会話からくみとる努力をしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前の情報として生活歴を書いていただき人生の歩みを大切にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の生活記録と申し送りでご入居者の1日の様子を把握するようにしています。病状変化等による心身の変化を早期に把握するよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご入居者および、ご家族様からの要望や、職員から聞き取った内容をもとに一人一人の適性に合ったプランの作成実行をしています。支援経過確認を行い常にご入居者にとって適正なプランなのかを検討しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の様子や夜間の様子を記録に残し、特記事項については申し送り時にも伝達しています。サービスの経過を話し合いその方にあった取り組み方法を検討しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同じ法人の老健リハビリ担当者から、骨折したご入居者の状態把握・リハビリのアドバイスを受け、生活リハビリの参考にすることができました。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣のスーパーマーケットで衣類や食料などの買い物を、ご本人とともに行っています。又、自然環境の豊かな中での散歩を楽しんでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の確認を行っている。月に1回、職員付き添いでカメラア診療所受診で健康管理を行っています。職員は日々の様子を医師に伝えています。必要に応じて病院への紹介状を書いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携加算を算定しており、担当看護師より定期的にご入居者の健康管理がされています。老健看護師にいつでも相談できる体制があります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ホームでの様子をご家族様を通じてお伝えしています。又、退院が近くなった時にはご家族様の許可を取り病院関係者より入院中の様子や退院後の注意の聞き取りをおこなっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在、緩和ケアの訪問医療を受けているご入居者がいます。ご家族様や訪問医師・看護師と情報を密にとり、終末期に向けてのケアに取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人勉強協会に参加し、急変時の対応についての知識を高めています。勉強会では、AED使用法や緊急蘇生方法の実践を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	港北消防署新羽出張所協力の下、年2回の防災訓練を行っています。訓練では、ご入居者参加で実際に避難を行っています。又、職員は水消火器による消火訓練もを行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者個人のプライバシーに関わる声かけは必要以上に大きな声を出さないように配慮しています。記録の扱いは十分注意しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何かをしていただく時には、お伺いをする声かけを行いご本人の決定を促しています。自己表出が難しい方にも選択肢を提示する工夫をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者の生活パターンを知り、何かをしていただきたい時には気持ちよく行動していただける時間帯や声かけを心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	常日頃のご様子から、その方の好む色や組み合わせを把握し、気持ちよく過ごせる着回しを提案しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けはご入居者と職員で、一緒に行っています。献立に関わらず、好みや食べやすさ、禁止食を考慮した食事が提供出来るよう配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分を取りにくい方には、好みの飲み物を提供したり、少量を数回に分けておすすめしています。食事量の少ない方には声かけや介助を行い、食間におやつを召し上がっていただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを促し、必要な方には介助を行っています。歯槽膿漏や虫歯を早期発見し歯科受診を行えるよう努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表への記入や申し送りや排泄パターンを知り、トイレでの排泄を促しています。日中と夜間の尿とりパットの使い分けをしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトの提供や、起床時の水分摂取など、その方にあった方法を提供しています。運動の足りない方には散歩をおすすめしています。それでも改善のない方には医師に相談し、便秘薬を処方していただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	浴室や脱衣所の温度に気を配っています。ご入居者が入浴を希望される時は時間に関わらず可能な限りで応じています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の空調には気を配り、就寝しやすい室温を心がけています。又、リビングで皆様と過ごす時、自室でお一人で過ごす時をご自由に選択できる環境づくりを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院により、薬が処方された時は薬の内容を申し送り職員へ薬の効用を認識するようにしています。服薬チェック表への記入をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お誕生日会やクリスマス会など歳時行事を絡めた催しを行っています。縫物が好きな方には針仕事を、文字のきれいな方には歌詞カード作りを行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日にはお散歩に行き、身体機能の低下予防ともに季節を感じていただいています。ご入居者のご希望する外出場所が実現困難な場所をご家族の協力をいただいています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は基本的にはお預かりさせていただいています。自己管理を希望される方にはご家族と相談の上、いくらか所持されており、買い物の際にはご自分でレジの支払いを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様とご本人様の要望で、携帯電話を所持している方がいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝、ご入居者といっしょに掃除を行っており、清潔の維持に努めています。カーテンを活用し、時間や気候に則した外光管理を行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングテーブル椅子の他ソファがあり、ご入居者が思い思いにお過ごしいただいています。共有部分でも一人になれる場所がありご自由に過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お茶碗や家具、ご家族の写真などお持ちいただき、今までの生活とのつながりを身近に感じていただける配慮をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレには手すりが付いており、ご入居者が一人で安全な行動ができるようにしてあります。ADLによっては職員が歩行の介助を行っています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

高齢者グループホーム
カメラア式番館

作成日

平成22年 4月 2日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	日常生活を主体にケア内容を検討してきた。認知症の進行に伴い低下していく身体能力の低下に、視点を置き、生活動作の維持や低下予防に努めたい。	認知症の進行とADL低下の関係に対する知識を高め、個別性のあるサービス内容の検討と実行。出来る事を維持・向上するケアを行う。	①入居者一人一人の状態を把握するための話し合いを行う。②認知症の進行と身体能力の低下との関係を学び支援内容に組み入れる。	H22年4月～9月
2	33	緩和ケアを行う事で、医療的専門分野と共同することであらためて、介護分野の必要性を認識し、職員全員が自信を持ってご入居者様に関わる事で得られる事を再認識できるようにしたい。	専門知識と、その人を思う気持を共有し、入居者ひとりひとりに対して納得のできるケアに努める事ができる。	職員間のコミュニケーションに努め、小さな事でも相談しあう関係づくりの強化。（会話内容や、その方の表情を主体とした行動チェック表の実施）	H22年4月～9月
3	29	入居者一人一人の個性を考慮すると、職員の知識のみでは対応しきれない事がある。社会資源を活用し入居者の満足に答えたい。	入居者が施設外の人や場に接することで入居者と職員ともに視野を広げることができる。	入居者の望みに答えきれていない内容を話し合い適した協力機関の適用を検討する。	H22年4月～9月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。